

スター★ウォッチング

日時：平成30年8月14日（火曜日）19:00～21:00

場所：龍郷町 りゅうがく館

講師：稲田 浩二さん、田之上 由美さん

参加者：児童・生徒101人、保護者67人、計168人



今回の
タゴボールは
おおがちろうく
大勝校区の
ひかんざくら
緋寒桜でした



稲田先生の話 をみなさん集中して聞いています



望遠鏡で星空観測 ☆



雲の切れ間から星が見えたかな？



大勝小の龍造寺さんがめあての
答えを発表してくれました

第3回目の講座はりゅうがく館でスターウォッチングを行いました。講堂で行った座学では講師の稲田先生がスライドを使いながら、ペルセウス座流星群や夏の三大角、土星について分かりやすく説明して下さい、子どもたちはとても熱心に話を聞いていました。座学の後は、りゅうがく館の屋上で先生と一緒に空を見上げ、星座のある方角や場所をレーザーポインターを使って説明して下さい、星の見つけ方を学びました。

稲田先生のお話を通して、子どもたちは講座のあった今年の8月の第3週が星の観察を行うのに色々な条件が重なり天気が良ければたくさんの星が見えることや、土星が地球の9倍程の大きさであること、土星の周りの輪はほとんど氷できていること、人の目で見れる星の数は約3,000個で星座は88個あることが分かったようです。また、そのほかにも多くの驚きや気づきがあったようです。おおがちろうく1年の南絆奈さんは、「織姫と彦星の星の名前を見ることができました。」龍瀬小6年の重田明さんは「自分の誕生日に誕生日の星座が見れないことを初めて知った」そうです。

今回講座を受けて学んだ星の見つけ方や先生のお話を思い出しながら、みなさんもぜひ家族や友達と一緒に星空観察へ出かけてみてくださいね(^o^)自分で見つけた星はいつもよりきれいに輝いていると思いますよ★